１３年5月本文他

本文

2013年5月１日

**木の芽時には弱いんです**

　３月から４月にかけての雨降りを菜種梅雨と言うのだそうですが、今年の春は寒暖の差も激しく、降雨量の面でも４月の東京は例年にない程だったそうですね。

東京の桜の開花宣言はとにかく早目で３月16日。ひょっとして桜前線は日本列島を一気にかけ上がるのかと思いきや、４月10日には飛騨北部ではみぞれが降って、咲き始めた桜がうっすらと雪化粧してみたり、福島県桜の名所の「花見山」では観測記録上最も遅い雪景色の中での花見に逆戻り。冠雪した雪間に見え隠れする観桜会だった由。

これが風情あるものかどうかは別として、やはり、希少価値に富んだ貴重なお花見だったのでしょう。

　私事、４月を健康増進の月と定め、野に山に思う存分心行くまで・・・。と思いつつも、結果的には降っては照り、乱高下する天候に振り回されて、殆ど成果なく終わってしまいました。

と言いますのも、昨年までは他人事のように感じていた花粉症。今年は例年になく飛来する量が多く、黄砂とかPM2.5とかいう西からのお客さんも悪さを増長して、「ついに俺もその洗礼を受けるか」なんて慄いたとたんに引きずり込まれました。

　また“後塵”のヒノキの花粉まで見事に引き継いでしまい、“知恵熱”に至っては38℃。正直、今年２月に後期高齢者入りした我が身を嘆きっぱなしの４月ではありました。

　出足は快調でした。還暦以降、「月一御嶽山」なんてつまらぬ健康増進策を自らに課して来たのですが、13年４度目も月早々に達成。夏場は暑さにあえぐから前倒しに行って貯金しておこうなんて思ったのもつかの間、西方より悪玉到来。とんだ体たらくでした。

　御嶽山に行った日は、雨天順延になった練馬OB会の花見の日。月曜と言うのにオジン集団車座になって怪気炎。お天道様の下で大トラ小トラ排出は良いとして、赤い顔しては帰宅できないから日永一日呑み通す。

これを嫌ってただ一人、カメラとワンカップ、リュックに忍ばせて“お忍び登山”。つるつる温泉への下山道、馬頭観音様のお駕籠のもと一人飲むコップ酒は絶品。何という酔い心地なんでしょう。

言い訳がましいのですが、先月は他にも山行のお誘いがあったものの、“幸いなことに”ヤボ用と重なってしまって正々堂々と不参加を決め込めました。正直言って、やせ我慢して参加しても、体力不足で同行の士にご迷惑をかけてしまったのではないでしょうか？

４月初旬だけの元気話をもう一つ。

私は、23区最西端の海抜60ｍの拙宅から、湾岸ゼロ・メートルの仕事場まで、約半世紀にわたって通い切りました。

若い頃は車で、新宿・銀座経由で朝が一時間弱、帰路は、平均して1.5時間かな？

体力面を考慮して、その後は最寄駅に車置いて通うようになり、一線を退いてからは二本の足を頼りに地下鉄有楽町線。

東京の東端と西端。一度はこの26㎞を踏破しようと思いつつも実現できなかったのでした。

仕事人生これ以上暇な時期はない、表現を変えれば、「今は、付け足しの仕事人生。暇を持て余している」のだ。一気は無理だが取り敢えず、こけら落としなった歌舞伎座は銀座まで・・。

思い立ったら吉日、御嶽山山行の翌日なのに残存疲労皆無。「今日は天気良いから失礼」。何て訳の分からぬセリフはいて湾岸の埋め立て地を早めに出でて銀座に向かう。

当月号ギャラリー欄をとくとご覧あそばせ。

先月ホームページに引き続きクシュンクシュン。

幼稚園の絵日記にも及ばぬ、“締まらぬ”内容と相成ってしまいました。

「木の芽時に弱い」ゆえ、平にご容赦のほど。

表題部の写真

夕べの東京散歩

①　東雲駅＃4618　運河＃4621　新豊洲駅＃4624　パークシティー越しのスカイツリー＃4627　勝鬨橋＃4630　歌舞伎座＃4636

4月某日、新聞もほぼ読み終わって昼食済ますと睡魔に襲われる。何することなく無為に時だけが進み、窓際に午後の陽ざしが傾く頃になって腰を上げる間合いを見計らっていると、急に、「そうだ、せめて銀座まででも歩いてみよう」との思いが募り、16時に工場を発ち、東雲駅を南北によぎり湾岸高速東雲JCTを右折して一直線。

ゆりかもめ新豊洲駅、晴海三丁目、勝鬨橋、歌舞伎座から銀座和光まで、写真撮り撮り1.5時間かけて踏破いたしました。

工場のある東雲鉄鋼団地は96年に開通したりんかい高速鉄道東雲駅に隣接しており、今でこそ駅舎がTV撮影に使われたり、一帯も高層マンションで名を馳せた土地柄とはなったものの、半世紀前は埋立現場の荒廃地だったのですから、この土地のパイオニアの一人として、こんな駅ができて一大住宅地になるなんて夢想だにいたしませんでした。　　隔世の感を禁じ得ません。

地名には「東雲鉄鋼団地」何て未練たらしく残っているものの、鉄鋼関連業は当社を含めて僅かに数社。肩身の狭い思いの毎日です。

これまた半世紀の間に建築された、高速道路と国道357号に沿って暫くすると、右折して高速道路は分岐して東雲JCTに向かい、それに沿って右折。東雲運河の周りは広大な敷地が占めており、「近いうちにどう変わるのかなあ～」何て思いを馳せて歩くと、ゆりかもめ新豊洲駅。

この一帯は、魚河岸、東京都中央卸売市場が12年に移設される計画でしたが、埋立地にありがちな公害問題で頓挫。未だにペンペン草が生い茂っています。その上から見下ろすように、新交通システムと言って運転手のいない電車が走っているのですから、“違和感”を感じざるを得ません。

パークシティー越しに見えるスカイツリーも、敢えて加えさせていただきました。このマンションには、何と、高校以来の友人で茨城のザイゴッペーで鳴らした友人が間違えて越してきたのですが、“馬子にも衣裳”とは程遠く、相変わらずの田舎ペーぶりです。

勝鬨橋に対する思い入れは深く、子供心に、勝鬨橋が開いて船の通る光景を、皇居に向かって脱帽しながら、何と荻窪から都電に乗って見に行った思い出があります。

築地の本願寺辺りには料亭も結構あり、往時は時折風流に勤しんだ時期もありましたが、遠い昔。知ってるお店の最後の一件も今年3月で廃業されました。

歌舞伎座では杮葺（ｺｹﾗｵﾄｼ）の賑わい。当日はこけら落とし四月天覧大歌舞伎だった由、夕暮れにその余韻を感じ取ることが出来ました。

【写真をクリックすると、その写真を拡大表示できます。拡大部の左右端にでる矢印部をクリックしていただくと順次先に進み（または後戻りし）ます。更に拡大部右下の欄外部にある×印をクリックすると、元に戻ります】

②　禅定院の牡丹

　法事があって江古田のお寺さんに向かう途中、中野区沼袋にある禅定院さんの門前から境内を除くと牡丹の真っ盛り。

　失礼して参観させていただき、下に載せるのは何枚か撮った内の二枚です。

　当日は曇天で撮影には丁度良かったのですが、風が結構あり、思ったショットが取れずにやきもきいたしました。